

このたびは、**KTC**エアツールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、**KTC**ブランドがつくり出した品質の高いエアツールです。より安全に、より永くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、注意事項や使用方法などをご理解の上、正しくお使い下さい。また、お読みになった後もこの取扱説明書は、大切に保管して下さい。



●諸元

	JAR352
ドライブ角	9.5sq.(3/8sq.)
能力ボルト径	10mm
無負荷回転数	250 rpm
重量	0.64 kg
使用空気圧(動圧)	0.62MPa (6.32kgf/cm ²)
無負荷空気消費量	0.09m ³ /min
エアインレット	NPT1/4"
使用エアホース内径	8mm

●特徴

- ・オリジナル設計による優れた出力と安定したパワー。
- ・厳選された部品と高精度加工による耐久性向上。
- ・片手操作に適した大きさ。
- ・操作しやすい形状のスロットルレバーによる作業性の向上。

京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地 <http://ktc.jp/>

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記支店までお寄せください。
支店 ☎ 東京 (03)3752-2261 名古屋 (052)882-6671
近畿 (0774)46-3711

お客様窓口
☎(0774)46-4159 FAX (0774)46-4359
E-mail : support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

製造国: 中国 500KTC

- 警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると、作業者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、作業者が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- ・本機を改造しないでください。また、本来の使用目的以外には使用しないでください。
- ・機種な能力を超えた無理な使い方はしないで下さい。
- ・無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにして下さい。
- ・作業中は安全のため、保護めがね、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴などを着用して下さい。
- ・目的や環境に応じた服装で作業して下さい。長い髪の毛やアクセサリなども注意して下さい。
- ・ソケットなど先端工具の交換はエアホース(カブラ)を外して行って下さい。
- ・本機に装着するアクセサリやソケットなど先端工具は規定の物を使用して下さい。
- ・作業を始める時は、先端工具などがしっかり取り付いている事を確認して下さい。
- ・回転している先端工具や駆動部分には触れないようにして下さい。
- ・エアツールはスイッチをオフにしても、しばらく回転しますので注意して下さい。
- ・作業前に本機の各部に亀裂や異音など異常がないことを確認して下さい。
- ・作業中に本機に異常を感じたら、直ちに使用を中止して点検し、必要に応じて修理を依頼して下さい。
- ・エア圧は0.7MPa(7kgf/cm²)以下で使用して下さい。0.63MPa(6.3kgf/cm²)が最適条件です。
- ・圧縮空気以外を動力源にしないで下さい。酸素やプロパンガスなどの高圧ガスを使用しないで下さい。
- ・エアホース(カブラなど)は確実に取り付けて下さい。エアホースが外れるとホースが飛び跳ねます。
- ・作業対象物は確実に保持して作業して下さい。
- ・ガソリン、ガスなど引火性の高い危険物の近くでは作業しないで下さい。
- ・エアラチェットは、緩め始めや締め終わりに反動が来るので注意して下さい。

注意

- ・安定した性能を維持してご使用いただくために、定期的に保守点検をして下さい。
- ・使用圧縮空気は清浄で乾燥したものを使用して下さい。
- ・本機は精密な部品も使われています。投げたり落としたり、ホースを持って引きずったりするなど乱雑に扱わないで下さい。
- ・空回転をしないで下さい。摩耗を早めたり、故障の原因になります。
- ・異常劣化させないために、連続フルパワーは1分以上掛けないようにして下さい。
- ・使用後はインレット部よりオイルを数滴注油して下さい。
- ・使用後は、エア取り入れ口からほこりやゴミなどが入らないようにして下さい。
- ・保守パーツは当社の指定品を使用して下さい。
- ・修理は販売店または当社支店・営業所に相談下さい。

●エアについて

- ・エアツールの性能を十分に発揮させるには、常に清浄で乾燥した規定圧の圧縮空気が必要です。
- ・配管には3点セット(フィルター、レギュレータ・オイル)を使用して下さい。
- ・コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去して下さい。
- ・使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにしてください。
- ・ホースは老化していないものを使用して下さい。
- ・ホースや配管などは長くなりますと、かなりの空気圧損失があります。
- ・付属のエアカブラをご使用下さい。他のものをお使いになりますと、エア漏れ、トルク低下の原因となります。

トラブルシューティング

動かない場合

- エアツールのスイッチは正常ですか。
- エアホースに接続されていますか。
- エアは来ていますか。
- エアコンプレッサは正常に稼働していますか。
- チェンジレバーは正しい位置にセットされていますか。
- 緩める場合は初期力を手動で緩めていますか。

本来のパワーが得られない場合

- エア圧は適正範囲内ですか。
- エアホースの内径は適正ですか。
- エア消費量(他のエア機器との消費量合計)に対し、エアコンプレッサの能力は十分ですか。
- レギュレータは適正に調整されていますか。
- ラチェットの空転トルクは適正ですか。

以上をご確認されても正常にならない場合は、
お買い上げの販売店または次ページのお問い合わせ先にご相談下さい。